

学習内容報告書 フォーマット

学校名	青森県立大湊高等学校
授業者	飯田尚弘 木下和子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

課題研究

1-2. 学年

2年次

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間

1-4. 単元の概要

総合的な探究の時間の中で「課題研究」として設定している。

「下北ジオパークを通して海と私たちの生活の関連を考える」として、課題の設定・研究活動を行う。生徒たちは普段の生活の中で身近に存在する場所がジオサイトだと知らないことも多く、下北ジオパークという自然を通して自分たちの住んでいる地域についての基礎知識を身につけるねらいがある。また、グループでの活動を通して協同的に課題を解決しながら、よりよい社会を実現しようとする態度を育てたい。

例年であればジオツアーを実施後、課題を設定し研究活動を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、ジオツアーの開催が9月になり、全体のスケジュールがずれ込んだ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・自分の住んでいる地域の歴史や自然の成り立ちについて知識を深め、情報を効果的に収集し、整理する技能を身につける
- ・地域社会についてグループで協同してまとめ、発表することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける
- ・探究活動を通して、地域の活性化とよりよい社会を実現しようとする態度と学びに向かう力を養う

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・必要な情報を効果的に収集し、比較・分類・関連付けるなどの考えるための技法
- ・自己の将来について目標を明確にし、課題解決に向けて主体的に行動できる能力
- ・互いを認め合い、協同的に課題を解決しながら、よりよい社会を実現しようとする態度

1-7. 単元の展開（全28時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>針路学ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究について、1年間の流れを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究についてスライドを使用し、説明 ・年次全体での説明のため、生徒への浸透は薄かった可能性がある。
1	<p>課題設定①：研究テーマを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・海洋生物・食・歴史・観光の5テーマについて概要を知る ・5つのテーマに沿った過去の研究のスライド・報告書等をみて、自分がどのテーマにするかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・5つのテーマに沿った過去の研究のスライド・報告書等を生徒に提示し、概要を説明する。 ・むつ市役所ジオパーク推進課からの講師の講演を予定していたが、変更して教員からの説明となった。
1	<p>課題設定②：クラスでのグループ決め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのテーマから自分の興味関心があるテーマを選択する 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ選択についてアンケートを実施 大方第1、2希望で振り分けることができたが、数名は第3希望にまわることになった
1	<p>課題設定③：課題とテーマの違いによる ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチクエスチョンを導く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用し、リサーチクエスチョンを導くよう指導する。 ・高齢化のテーマでリサーチクエスチョンを説明し、ゴミ問題で練習をしたが、絞り込めない生徒も多く、時間を要した。
1	<p>課題設定④：リサーチクエスチョンから 仮説を立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチクエスチョンから仮説を立てる。 ・前回リサーチクエスチョンが終了できなかったグループも多く、仮説を立てるまで行かなかったグループも複数見られた。
1	<p>課題設定⑤：仮説を設定する・研究計画書を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究手法を学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・今時までには仮説を設定し終わり、研究手法を提示し、研究計画書を作成した。 ・自分たちで考えた仮説を証明するためにどのような調査・実験が有効かを見極めるのに時間がかかり、なかなか方向性が見えてこないようだった。

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	課題設定⑥：研究計画書をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・研究手法を確認し、研究計画書の作成を行う。 ・考えた手順等を書き起こすことにより、思考の整理ができた。
4	課題研究①～④ <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書に基づき、研究を進める ・下北ジオパークについて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・しもきたTABIあしすと作成のパンフレット等を使用。 ・例年であればジオツアーに行ってから課題設定になるが、今年度は実施が遅れたため、パンフレットやインターネット他からの情報をもとに研究を進めた。
6	ジオツアー（5コースに分けて実施） <ul style="list-style-type: none"> A 東通コース B 恐山・薬研コース C 仏ヶ浦・佐井コース D 大間・風間浦コース E 脇ノ沢・川内コース 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコースをボランティアガイドの案内により見学・調査、コース設定等は「しもきたTABIあしすと」の協力を得た。 ・計画よりも日程がおそくなったため、ジオサイトの見学後、自分たちで課題を見つけるという当初の計画はなされなかったが、各自の設定した課題の現状を確かめることができた。
2	課題研究⑤⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・ジオツアーのまとめ ・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチクエスチョンや仮説を立てる段階であいまいになってしまったチームは、何を最終目標とすればいいのかわからなくなってしまったチームもあった。
6	課題研究まとめ・発表準備①～⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・5テーマ、各チーム課題兼研究のまとめを行う ・テーマ別の発表会に向けて、発表準備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年スライド作成を凝りすぎてしまう傾向にあるので、わかりやすく見やすいスライドをつくるよう指示した。 ・データや画像の出典元を明らかにするよう注意した。

2	<p>課題研究テーマ別発表会①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5つのテーマごとに課題研究の発表会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つのテーマごとにスライドを使用し発表会を行う。 ・ テーマから1チームずつ代表を選び、年次発表会に出場する。
1	<p>年次発表会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年であれば全学年そろっての発表会となるが、新型コロナウイルスの影響により、年次発表会となった。 ・ 発表した5チームの中から県の総合学科研究発表会に参加するチームを選出。
時間外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下北ジオパーク学習・活動発表会に参加 ・ 青森県総合学科高等学校研究発表会に参加 	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

課題設定の練習をし、テーマと課題の違いを知る

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none">・課題設定のための説明を聞く 説明を聞きながらワークシートにメモをとる・リサーチクエスチョンを立てる練習をする 【グループ活動】 ① 5W1Hの表を作成する ②表をもとにリサーチクエスチョンをつくる・グループでの課題設定練習が終わったら、自分のワークシートに記入する	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート1枚目を使用し、リサーチクエスチョンの方法を説明する・ワークシート2枚目を使用し、「ゴミ問題」をテーマに課題設定の練習をさせる。 ※練習用の5W1Hの表やリサーチクエスチョンを立てている間、様子を見てアドバイスを行う。※リサーチクエスチョンをつくるためにアドバイスを行う。※作成した表やリサーチクエスチョンは必ず担当者が見て、「解決すべき課題」につながるか確認する。問いが漠然としていたり、範囲が広すぎたり、そもそも問いになっていないなどはやり直しさせる。 <p>評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none">・グループでまたは個人同士が積極的に行動できたか・必要な知識や情報（先行研究など）を十分に得た上で、自分たちの意見を集約し何を研究したいかを具体的に示せたか

3. 今回の活動の自己評価

昨年度までの反省として、「リサーチクエスチョンを立てて、仮説を設定する」のあたりで生徒たちが躓いている傾向が見受けられ、結果どのようなことを調査・研究すればよいのか、また最終目標はどこにあるのかわからなくなってしまった生徒が多いように感じていた。今年度は職員が「リサーチクエスチョンを立てる」研修を受け、そのあたりをクリアにしたいと考えて臨んだ。

生徒たちに理解しやすいようワークシートを用意した。「高齢化」をテーマに説明を行い、「ゴミ問題」でリサーチクエスチョンを立てる練習を行った。

大方の生徒は、自分の思考を文章化することで、あいまいな部分を解消することができ、どの部分に着目して研究を進めていけばよいかクリアになったと自己評価している。

だが、難しそうだと初めから考えるのをやめてしまったり、途中で何をすればよいのかわからなくなってしまっていた生徒もいた。

4. 今後の課題

本時で説明と練習を行い、次の時間で実際に自分たちのテーマに沿ってリサーチクエスチョンを行う計画であったが、1時間では練習を終わらせるのは難しく、次の時間に持ち越しとなったグループが多かった。

課題研究においてこの部分が重要だと考えるので、来年度へ向けては少し内容を精査し、もう少し時間をかけて実施したい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。